

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立楠見小学校
作成日	令和3年2月26日

1 教育目標

正しい人権意識や、豊かな心を持ち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・県学習到達度調査で県平均との差を一桁以内に - する ・授業がわかる(児童90%) ・わかる授業・問題解決型の授業を実践した(教師100%)	・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・「心のとびら」の活用100% ・いじめの解消率100%	・毎日朝ごはんを食べた(児童90%) ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)	・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・地域・中学校区学校と連携した取組を具体的に実践できた(教師80%)
意見 重点 目標 に対する	朝の読書タイムをすることで落ち着いて学習に入れるのではないかと、また、読解力向上のためにも取り入れてみるのはどうか。	安心して学校に通えるようにするためには、いじめや不登校の早期発見・対応が大事であるから、子供たちのことをしっかり見てほしい。	朝食の摂取率が上がってきたことはいいことであるが、今後も朝食は、生活の基本であるから、保護者に理解を求めているほしい。	今年度は連携が難しいことも多かったが、避難訓練では今までにない人数が協力していて、地域のつながりを感じた。
意見 取組 状況 に対する	授業を参観すると、今まで見た中で一番落ち着いて学習ができている。指導力の差は感じられるものの、全教員が頑張っていることはよくわかった。	不登校の子供が増加傾向にある中で、個々の対応を丁寧にしてほしい。	体育の授業で運動をしっかりさせたら、休憩時間も運動場で遊ぶ子供が増えるのではないかと。休憩時間に先生たちが一緒に遊んでいる姿をよく見る。おのことが外遊びの奨励になっていると思う。	地域に出て、学習する子供たちを見ると生き生きしている。昨年度の学習から、公園は子供がよく利用するようになった。もっと、保護者や地域の人材に協力してもらったらいい。地震や交通事故の発生などもあり、通学路の安全の見直し、スクールゾーンの設置等をお願いしたい。
に取組 対する 適切 さの 意見 検証 結果	依然として学力が低いと、授業改善が求められる。また、家庭の協力が必要であるため、学校全体で啓発して、各担任の先生にも連絡や放課後学習で頑張ってもらいたい。	いじめや暴力・暴言については、厳しく指導していかないといろんなことに波及する。 先生によって指導力に差はあるのは仕方ないけれど、見つけた先生が、その場できちんと指導すれば補えると思う。	朝食の摂取率が毎年向上しているのは、学校からの啓発の成果だと思う。臨時休業で昼夜逆転し、ゲームの依存率が高くなっていて、運動不足である。体育の時間を通じて運動の好きな子にするしかない。	学校や学級の様子を学校・学級だよりで紹介し、学校の取組が伝わっていると思う。今年度は回覧板でも見る事ができた。校舎内は難しかったが、その分、花壇の整備など屋外で活動できたのはよかった。
改善 方法 に 対 する 意見	低学力の子供をどう伸ばすか、具体的な手立てを打たないと子供は変わらない。今年度の結果を見て、次年度は全国学力調査では平均との差が1桁、県の学力調査も平均との差が5p以内を目指して頑張りたい。	年度当初から、生活のきまりや学習規律について、学校全体できちんと確認し、一丸となった指導をお願いする。	情報教育にも力を入れてほしい。外部講師やソフトを使って何度も指導してほしい。引き続き「早寝、早起き、朝ごはん」を呼びかけ、改善されていることを知らせることによって、相乗効果が生まれる。子供の将来を考えると、むし歯治療、歯磨き習慣も向上させたい。	コロナ禍ではあるが、安全に注意しながら少しずつ連携できることを増やしていけるようにしてほしい。

3 その他のご意見

遅刻してくる子供、1人で登校する子供を見かける。集団登校しているとき(新年度2か月間)は殆ど見かけないが、冬になると多くなってくる。地域としては集団登校をしてほしいが、学校から指導できないものか。